

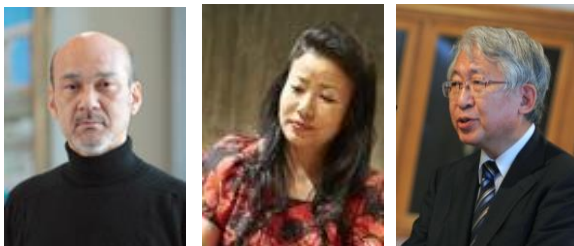
名バリトンは何でも歌う

講師 バリトン歌手 田中 純 ピアニスト 久元祐子 国立音楽大学招聘教授 礒山 雅

サントリーホール・ブルーローズの《冬の旅》で絶賛されたバリトン歌手田中純さんは、ジャンルを問わず、歌の感動を言葉に命を込めて伝えることのできる方です。

このすばらしい能力を、超幅広いプログラムでお届けします。

(礒山講師記)



《曲 目》

【第1部 バッハ】

《ゴルトベルク変奏曲》のアリア (ピアノ独奏)
カンタータ第 82 番よりアリア《まどろめ、疲れた眼よ》

【第2部 ドイツ・リート】

モーツァルト／クローエに
シューベルト／セレナード (歌曲集《白鳥の歌》より)
シューマン／献呈 (歌曲集《ミルテの花》より)
シュトラウス／万霊節

【第3部 オペラ】

リスト・ワーグナー / 巡礼の合唱 (ピアノ演奏)
ワーグナー楽劇 / 《ニュルンベルクのマイスタージンガー》より
〈にわとこのモノローグ〉

【第4部 日本歌曲】

越谷達之助 / 初恋
山田耕筰 / 松島音頭

【第5部 歌謡曲】

米山正夫 / 南の薔薇
平井夏美・井上陽水 / 少年時代

日 時 2016年9月30日 金曜日 19:00-20:30
受講料 会員3,672円(入会金は5,400円。70歳以上は入会無料、証明書が必要です。)
一般4,320円
※入会金、受講料、教材費等は消費税8%を含む金額です。

※ ご入会の優待制度をご利用の方は、お申し出ください。

※ 日程が変更されることがありますので、ご了承ください。

※ 講師の病気や、受講者が一定数に達しない場合などには、講座を中止することがあります。

※ 個人情報は、受講連絡、当社からのお知らせ、企画の内部資料として使わせていただきます。



朝日カルチャーセンター | 新宿
朝日JTB・交流文化塾

〒163-0204 東京都新宿区西新宿 2-6-1
新宿住友ビル内 私書箱22号
tel 03-3344-1945
<http://www.asahiculture.jp/shinjuku>

<講師紹介>

田中 純(たなか・じゅん)バリトン

東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。デトモルト国立音楽大学、パダーボルン国立総合大学にて研鑽を積む。ドイツ各地で歌曲リサイタル、教会音楽、オペラ等の演奏活動を行う。第二回国際ブラームスコンクール(ハンブルク)で、第2位受賞(1位なし)。帰国後、ドイツ歌曲、宗教曲のスペシャリストとして、数多くのコンサートに出演。ヴォルフ歌曲全曲演奏に取り組み、すでに、ゲーテ、メーケ、アイヒェンドルフ等 200 曲以上を発表している。また、日本歌曲の初演、オペラ、ミュージカル出演も精力的に行っている。オペラ「仏陀」のタイトルロール出演は、全国各地で数十回に及ぶ。CD は、大中恩歌曲集「はにかみ・はざしり」「月曜日の詩集」、ファウエム ミュージック コーポレーション制作日本歌曲第9集で、平井康三郎、柴田南雄歌曲をリリース。

2002年～2004年滋賀県高校生音楽コンクール、2003年第7回 J.S.G 国際歌曲コンクール、2007年～2015年全日本学生音楽コンクール大阪大会の審査員を務めている。京都女子大学大学院教授、日本シューベルト協会、関西二期会、日本音楽表現学会各会員。

久元祐子(ひさもと・ゆうこ) ピアノ

東京芸術大学音楽学部(ピアノ専攻)を経て同大学大学院修士課程を修了。ウィーン放送交響楽団、ラトビア国立交響楽団、読売日本交響楽団、ベルリン弦楽四重奏団など内外のオーケストラや合奏団と多数共演。音楽を多面的に捉えることを目指したレクチャー・リサイタルは朝日新聞・天声人語にも紹介される。ベーゼンドルファー(1829年製)、プレイエル(1843年製)、エラル(1868年製)などを所蔵。歴史的楽器を用いての演奏会や録音にも数多く取り組む。2011年ウィーンでのリサイタルは、オーストリアのピアノ専門誌の表紙を飾りベーゼンドルファー・アーティストの称号を受ける。2012年、2014年イタリア国際モーツァルト音楽祭に招かれリサイタルを開催。これまでに CD12 作をリリース。「優雅なるモーツァルト」は毎日新聞 CD 特薦盤、レコード芸術特選盤に選ばれ「ベートーヴェン”テレーゼ””ワルトシュタイン”」はグラモフォン誌上で「どこからどう考えても最高のベートーヴェン」など高い評価を得る。著書に「モーツァルトのピアノ音楽研究」(音楽之友社)、「原典版で弾きたい! モーツァルトのピアノ・ソナタ」(アルテスパブリッシング)、「モーツァルトとヴァルター・ピアノ」(学研プラス)など。

国立音楽大学准教授 日本ラトビア音楽協会理事。

久元祐子ウェブサイト <http://www.yuko-hisamoto.jp/>

磯山 雅(いそやま・ただし)

1946年東京生まれ。東京大学大学院美学芸術学科修了。国立音楽大学教授を経て、現在国立音楽大学招聘教授、大阪音楽大学客員教授、いずみホール音楽ディレクター、サントリー芸術財団理事。毎日新聞に音楽批評を執筆。第1回辻荘一賞、第10回京都音楽賞研究評論部門賞、2011年度大阪市市民表彰を受賞。『マタイ受難曲』(東京書籍)など、バッハ、モーツァルト、バロック音楽を中心に著訳書多数。